

| | |
|-----|---|
| 件名 | 令和5年度「まつば座談会」報告書 |
| 日時 | 令和6年3月23日（土）10時00分～11時45分 |
| 場所 | 松葉近隣センター体育室 |
| 出席者 | 【出席者】41名 |
| 内容 | <p>受付時にグループ分けを実施し、6グループ結成。 司会進行…松葉町地域ふるさと協議会副会長：平山氏</p> <p>1 開会のあいさつ及び趣旨説明 （松葉町地域ふるさと協議会：秋元会長） 座談会は松葉町地域で必要とされているニーズを掘り起こす機会としている。これまで、子ども達の意見から、あいさつが交わせる街にしたいと「あいさつ運動」が始まったり、多世代の居場所が必要との意見から、今年度は松葉近隣センターのロビーと和室をつなげて開放する「みんなの居場所」が始まっている。今回の座談会では、子どもにやさしい街づくりをテーマに、「みんなの居場所」「ふるさと協議会主催行事」「未就学児童親子や小中学生向けの講座」について、皆さんから様々なご意見をいただきたい。また、松葉町においてその他皆さんが日ごろ感じていること等、幅広い感想ご意見を聞かせていただきたい。</p> <p>2 意見交換 グループワーク「子どもにやさしい街づくりのために」 （1）自己紹介後、ふる協主催のイベント等について意見交換を行う。 意見要望を出してもらおう対象として、「みんなの居場所」「ふる協主催行事」「児童生徒向け講座」を提示。 （2）各グループでそれぞれの意見を共有 各自意見を発表しながら模造紙へ付箋を貼り付けていく。 （3）グループ発表 各グループで出た意見を読み上げ全体で共有する。 以下、グループごとに出た意見を記載。 ① → みんなの居場所 ② → ふる協主催行事 ③ → 児童生徒向け講座 他 → その他について</p> <p>Aグループ ① ・まつばR定休日の月、火曜日 15時～17時にみんなの居場所として開放する。 ・放課後の学校を居場所として開放する。 ・子ども会に復活してほしい。 ・児童ルームや学校とも連携した方が良いのではないかと。 ・館内だけではなく、公園等のびのび動ける場所があると良い。 ・ファミリーサポートやこども110番の役割も担えるのでは。</p> |

- ② ・各町会とふる協がタイアップして実施。
 - ・QRコードを活用した情報発信。
 - ・行事自体をコンパクトにしてはどうか。
 - ・七夕まつりやふるさと祭りの準備片付けが大変なので小中学生にボランティアを呼びかけてはどうか。
 - ・1年ごとに町会自治会の役員が交代するのはいかがなものか。
 - ・大きな行事ばかりではなく、昨年12月に開催された未就学児親子対象のクリスマスケーキ作り等、対象を絞った、こじんまりとした行事開催も良いと感じた。
- ③ ・地域人材バンクのようなものを作り、指導者を地域から選出できるとよい。
 - ・未就学児親子向けの講座開催時、児童の見守りを小・中学生にお願いしてはどうか。
 - ・老人会や趣味サークルとコラボできるとよい。
- 他 ・授業中の児童生徒の見守りやミシンの使い方、書道等教員の補助に老人会を活用してはどうか。
 - ・子ども同士で見守り、助け合う仕組みがあればよい。

Bグループ

- ① ・松葉町には公園がたくさんあるので、有効活用し、人が集える場所になると良い。
 - ・囲碁、将棋、着付け等の指導ができる地域の人材に指導してもらえる場所にしてはどうか。
 - ・月に1回ではなく、常時開放できる場所があると良い。
 - ・日本古来のお琴、茶道、着付け等の体験ができる場になると良い。
- ② ・ふる協役員だけでこなすのではなく、町会員を巻き込む事ができると良い。
 - ・おしゃべりサロンを以前のようなおしゃべりをメインにした内容に戻してはどうか。
 - ・ふる協行事にもっとたくさんの幼児・児童に参加してほしい。
- ③ ・食育や交通ルール、親子向けの防災教室を開催してはどうか。
 - ・子ども達の参加を呼びかけるのであれば、学校ではなく町会へ依頼した方が効果的ではないか。
- 他 ・マルエツ前広場で、年齢を問わないラジオ体操を定期的で開催したら、広場が活用できるのではないか。
 - ・公園内にスケートボード施設を作ってほしい。

Cグループ

- ① ・居場所の企画の段階から子ども達に参加してもらわないと、子どもの声を吸い上げることは難しいのではないか。

- ② ・ふる協行事それぞれ、情報伝達できているか疑問。行事終了後に結果を発信することも重要だと思う。
- ③ ・悩み相談や学習支援を行ってはどうか。
 - ・世代を超えた講座となっても良いのではないか。子⇄大人、双方向で教え合うことができればよい。(スマホの使い方等)

Dグループ

- ② ・松葉町内のサロンや集会所、高齢者施設等をめぐる「松葉町を知ろう」ツアーがあるとよい。
 - ・柏踊りを松葉町から広める。
 - ・おしゃべりサロンの認知度は高く、参加者も多い。
- 他 ・児童館がほしい。
 - ・町会によっては集会所がないので、集まりやすい場所がそれぞれあると良い。

Eグループ

- ① ・子ども会がある町会が少なく、放課後の居場所がない。
 - ・部活動は放課後の居場所の一つとなっているが、松葉第一小学校の吹奏楽部の廃部が決定し、有志の保護者で地域化を目指している。
- ② ・廃部になると発表の場もなくなってしまうため、地域のイベントに積極的に参加したいと考えている。
- 他 ・小学校の楽器を借用できた場合、校舎3階から楽器類を降ろさなくてはならないため、移動のお手伝いを地域の方をお願いしたい。
 - ・楽器は小学校の備品であるため、有志で立ち上げた団体には貸し出せないと言われてしまっている。ふるさと協議会等地域の方の協力をいただきたい。

Fグループ

- ① ・人材確保、安全対策を講じた上で、まつばRや学校を利用する。
- ② ・全町会で神輿を担げたら良い。
 - ・行事のアピールが不足していると思う。
 - ・各行事でボランティア登録制を用いてはどうか。
 - ・児童生徒向けに年間行事計画を配布し、ボランティア募集してはどうか。
- ③ ・子育てから復帰したママ達の参加も考えると土日開催が良い。
 - ・子ども向けの行事の周知方法を考えた方が良い。
 - ・遠方や長時間だと参加が難しい。
 - ・防犯講習や救急救命講習を定期的を開催してはどうか。

3 閉会